

「三嶺防鹿柵設置活動」 (三嶺の森をまもるみんなの会・高知中部森林管理署主催)

日 時： 平成 30 年 5 月 20 日 (日) 9:00～16:00

場 所： 高知県香美市三嶺 (みやびの丘周辺)

内容

シカの食害によって大きなダメージを受けた三嶺の森は、シカ捕獲活動の効果が徐々に表れ、場所によっては植生の回復の兆しを感じられるようになりました。

しかし、多くの場所では裸地の状態、あるいはシカの嫌いな植物のみが繁茂するといった、もとの森とは全く異なった状態が続いています。

三嶺の森をまもるみんなの会と高知中部森林管理署では、三嶺周辺で森とササ原を鹿の食害から守るために防鹿柵を設置しています。また、食害のため裸地となった場所には、土砂流出防止マットを設置して植生を回復させる取組を行っています。

今回のボランティア活動は、白髪山の南にあるみやびの丘で、森とササ原の再生を目指して、防鹿柵を設置することを目的としています。

当日は、親子や学生、流域の行政機関の参加者も含めて約 140 人で三嶺のみやびの丘周辺の希少植物を保護するため、防鹿柵の設置作業 (3箇所で約 650m) を行いました。

設置作業の完了後、三嶺の鹿被害の状況と防鹿柵の効果について、依光高知大学名誉教授から説明を受けました。

また、香美市の担当課から鹿の有害捕獲 (駆除) について状況報告を受けました。

〈当日の様子〉



写真 1. 防鹿柵進入防止ネット張り作業



写真 2. 防鹿柵支柱の打ち込み作業